

駅弁業者5社（崎陽軒、大船軒、東華軒、祇園、万葉軒）共同プレスリリース

2018年4月5日

4月10日の「駅弁の日」、シウマイ娘が旅の楽しさをお届け。
駅弁を食べることで、素敵な心の旅の時間を演出します。

一社）日本鉄道構内営業中央会 会員5社による駅弁の日イベント

一社）日本鉄道構内営業中央会の会員である駅弁業者5社、崎陽軒（横浜駅、本社：横浜市西区）、大船軒（大船駅、本社：鎌倉市）、東華軒（小田原駅、本社：小田原市）、祇園（伊東駅、本社：伊東市）、㈱リエイ万葉軒千葉工場（千葉駅、本社：浦安市）は、4月10日の「駅弁の日」を記念して、横浜市加賀原地域ケアプラザを会場に、「駅弁の日」施設訪問イベントを実施いたします。

このイベントは、1998年から毎年実施しているもので、各社が自慢の駅弁約150食と、加えて崎陽軒からは駅弁によく合う「崎陽軒のお茶 釜炒り茶ブレンド」を持ち寄り、施設のご高齢の方々に召し上がっていただく企画です。誕生から130年以上の歴史を誇る駅弁は、駅弁業者が地元の特産品や名産品をお弁当に入れることで、それぞれの地域に新たな名物を生み出した、日本独自の食文化といっても過言ではないものです。我々5社は、このイベントを通してご参加の皆様へ、旅行の醍醐味のひとつでもある駅弁をより身近なものとして感じていただきたいと考えております。列車の高速化や食文化の多様化など、駅弁を取り巻く環境は順風満帆とは言い難い状況にありますが、さらなる駅弁文化の発展を我々は今後も目指していきます。

崎陽軒からは、「シウマイ娘」と呼ばれる赤い制服を着た販売員も参加し、駅弁を通じて、ご参加の方々と旅の思い出を語り合うなど交流を図ります。

取材いただけるメディアの方は、「横浜市加賀原地域ケアプラザ（横浜市都筑区加賀原1-22-32）」へお越しください。

*駅弁の日とは

明治の時代より鉄道の旅の友として多くのお客様にご利用いただき、親しまれてきた「駅弁」を新しい歴史の中でこれからも末永くご愛顧されるよう願うとともに、私たち駅弁屋が心新たに「駅弁」を見つめ直すことを念じ、1993年に「駅弁の日」と決めました。

*駅弁の日の由来

弁当の「弁」の文字が4と十の組み合わせでできおり、「当」は（とう）になることから、4月10日に定められました。

■実施内容

日時 2018年4月10日（火） 12：00～13：00

横浜市加賀原地域ケアプラザ

訪問施設 会場：横浜市加賀原地域ケアプラザ 多目的ホール
（横浜市都筑区加賀原 1-22-32）
TEL：045-944-4640

■実施風景（過去に実施した際の様子）



このイベントに関するお問い合わせについて

■お問い合わせ先

株式会社 崎陽軒

広報・マーケティング部

担当：西村 浩明、柴田 菜都美、
金田 祐輔、伊藤 亮、小川 萌子

TEL：045-441-8918（直）

045-441-8851（代）

FAX：045-441-8904

URL：<http://www.kiyoken.com/>